

油田プロジェクト

環境衛生課 環境衛生係 72-9001



てんぷら油のリサイクルで 二酸化炭素を削減する

皆さんは、使い終わったてんぷら油をどう処理していますか。「紙にしみこませたり、凝固剤で固めたりして、燃えるゴミに出します」

その通りです。でも今からは、使用済みのでんぷら油は「捨てるもの」から「リサイクルするもの」と考えてみてください(これまで通り、適切に処理して「燃えるゴミ」に出すことも可能です)。

市は昨年1月に「カーボンネガティブ」を宣言し、二酸化炭素(以下、CO₂)の削減に取り組んでいます。その一環として、4月から市内全域でてんぷら油(廃食油)を回収し、バイオディーゼル燃料にリサイクルする事業を始めました。名付けて、「くにさきわくわく油田プロジェクト」。県内初となる「市内完結型のエネルギー循環システム」の取り組みに、ぜひ協力ください。



てんぷら油をみんなで集めて国産の燃料を作ろう!

バイオディーゼル燃料ができるまで

市内では、国東町の環境衛生事業者のくにさきエコシステム(株)が、バイオディーゼル燃料の製造を行っています。同社は市内外の飲食店を巡回して、回収した廃食油をバイオディーゼル燃料にリサイクルしています。



くにさきエコシステム株式会社 (国東町浜崎)



廃食油は油かすを取り除いた後、専用の機械に入れて薬剤と混ぜ合わせます。薬剤で分離した廃食油の上澄み液が、バイオディーゼル燃料の原料に。



市内外の飲食店を巡回し、廃食油を回収。飲食店にも油の廃棄に費用がかからないというメリットがあります。



廃食油の回収作業に向かうトラック。トラックはバイオディーゼル燃料で走っており、軽油と比較して排気ガスの黒煙が抑えられています。



上澄み液を水で洗浄して不純物を取り除き、バイオディーゼル燃料が完成。廃食油の回収からバイオディーゼル燃料ができるまで、約3日かかります。



回収した廃食油の9割以上は、バイオディーゼル燃料にリサイクルされます。製造されたバイオディーゼル燃料は、軽油や重油の代わりとして使えます。



バイオディーゼル燃料(純度95%程度)。現状でも十分使用できますが、より信頼性を高めるため、同社ではさらに高純度の燃料を製造する計画です。

くにさきわくわく油田プロジェクト

てんぷら油から国産燃料を製造

てんぷら油の回収拠点を「油田」に見立て、回収した油から国産の燃料を製造するプロジェクトです。

回収拠点はお近くの公民館など約70か所

回収した油をバイオディーゼル燃料にリサイクルすることで、エネルギーを循環させる社会を築きます。脱炭素社会の実現に向けて、市民の皆さんのご協力をお願いします。

回収方法は2種類 回収拠点ごとに回収方法が異なります。

①ポリタンク方式

回収拠点に備え付けのポリタンクに油を入れてください。

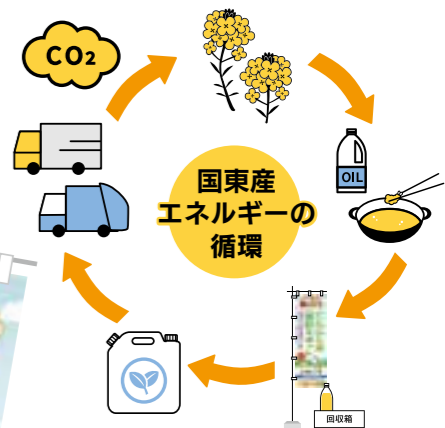


②ペットボトル方式

ペットボトル容器に油を入れて、容器ごとお出してください。



回収拠点はこの「のぼり旗」が目印



植物由来のてんぷら油をリサイクルして製造したバイオディーゼル燃料は「再生可能エネルギー」に分類されます。植物が育つ過程でCO₂を吸収することから、バイオディーゼル燃料を燃やすことによって排出されるCO₂はゼロと見なすことができます。



くにさきエコシステム株式会社 代表取締役社長 西田 正孝 さん

高純度のバイオディーゼル燃料で CO₂削減に貢献したい

当社は昭和52年に創業し、ごみ収集や浄化槽管理などを行っています。国東の自然環境を守りたいとの思いから、廃食油のリサイクル事業を平成13年から始めました。当社の車両の約半数はバイオディーゼル燃料で走っています。今年、さらに純度の高いバイオディーゼル燃料を製造できる機械を導入予定です。そこで、少しでも多くの廃食油をリサイクルするため、市の「わくわく油田プロジェクト」と連携することにしました。製造したバイオディーゼル燃料は市の公用車などに利用してもらうことで、CO₂の削減に貢献したいです。